

ポンプの「老朽化更新」に待った！ ポンプ更新時、安易に同じポンプに更新していませんか？

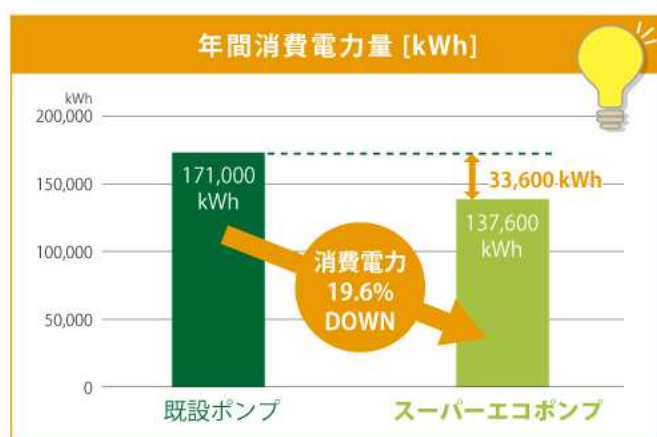
汎用ポンプはメーカーや機種ごとに取り付け寸法が異なり、ポンプ効率もさまざまです。寸法が同一であるだけでは、同一ポンプへの更新が電気代やGHG(CO₂)削減に繋がりません。しかし、トリシマの「スーパーエコポンプ」に更新することで電気代やGHG(CO₂)削減に繋がる可能性の高いことが、あまり知られていません。

1. ポンプを1台更新するだけで、電気代が1,260万円、GHG(CO₂)排出量の差が181t/CO₂であっても同じポンプに更新されますか？
2. ポンプの更新は現状、取り付け寸法が同じという理由で同じポンプに更新されるケースが目立ちます。しかし、同一ポンプに更新しても電気代やGHG削減にはならないケースがほとんどです。
3. スーパーエコポンプに更新すれば、どれぐらいの効果があるのか？

上記1.で記載の効果は以下の例のとおり15年間での省エネ経済効果の数字です。

【例】ポンプ仕様：吐出し量 3.33m³/min、全揚程 25m

	既設ポンプ	スーパーエコポンプ	性能差
ポンプ効率	78 %	84 %	6 %
軸動力	19.5 kW	16.2 kW	-3.3 kW
消費電力	21.4 kW	17.2 kW	-4.2 kW
モータ容量	22 kW	18.5 kW	-3.5 kW



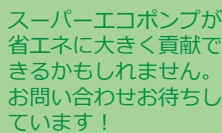
- 2022年度関西電力のCO₂換算排出係数
算出元 環境省: 0.00036t-CO₂/kWh
- 電力単価: 25円/kWh
- 運転時間: 8760時間/年
- 消費電力量は、軸動力÷モータ効率となります。

スーパーエコポンプは、

- スーパーエコポンプは、2024年度「省エネ大賞－製品・ビジネスモデル部門」において、省エネ大賞最高位「経済産業大臣賞（電気需要最適化分野）」を受賞しました。

Minimum Efficiency Indexの略で欧州における最低効率指数を表します。MEIは0.10～0.70の数字で表示され、数字が大きい程、効率値が高いことを示します。EU指令のもと、業界団体によってEU域内に流通しているポンプを対象とした効率値情報の統計がとられました。これをベースに数値化分類したものが、MEI値です。

上記の結果から、モータ容量が1級下がることも多々あります。モータ容量が下がれば、ランニングコストだけでなく、イニシャルコストもメリットがでできます。仕様と既存の性能曲線があれば、比較した省エネ提案をいたしますので、ぜひトシマへお問い合わせください。



トリシマのマスコット
「トリポン」

トリシマ エコポンプニュース vol.99